

## 閑上地区まちびらきについて

### <これまで世話役会で出てきた考え方>

- 支援をいただいた方々への感謝
- 閑上の住民、戻らなかった方、企業市民、支援をいただいた方、皆が喜べる
- 主催者への地元(住民)参画 → 実行委員会形式
- これからのまちに向けた要素を生み出し育てる(継続できること)
- 参加型で目に見えるものをつくり、まちづくりの実感を持ってもらう
- 

### <論点ポイント>

(仮)まちびらき実行委員会においては、下記の点を整理しながら、何を  
実行するのか **What** を決めていく流れが想定される。

1. 何を目的に開催するのか。 **Why**
2. どこまでが主役で、どこまでがお客さんと想定するのか。 **Who**
3. 慰霊・祈念の場とするのかどうか。 **Which**
4. 同時開催とするのか、ひと括りでまちびらきとするのか。 **How**
5. 財源や場所の確保はどうするのか。 **Where**

### <プレゼン大会の役割>

- ・ 上記の内容を整理するための議論の場をつくる。
- ・ **What** の具体的なアイデアを集める。
- ・ 主役となる人たち **Who** を見つける。